

教団新報

定 価 1 部 140 円 (本 体 133 円 千 共 200 円)
予 約 購 読 料 1 年 分 千 共 5,000 円
紙 代 の み 3,500 円
振 替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日 本 基 督 教 団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
FAX 03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 長 崎 哲 夫
編集主筆 渡 邊 義 彦
印刷所 株式会社きかんし

伊豆・大島、台風 26 号報告

大島元村教会 ◆ 並河光雄牧師



上、崩落した三原山の斜面が白く雪で覆われている(2月10日撮影)
下、大島元村教会



大島元村教会は、離島にありながら明治末期よりスキャンジニア・アライアン

が教会しました。東京教区東支区に属し伊豆諸島伝道委員会のもとで、波浮教会、新島教会、三宅島伝道所、八丈島教会と共に主の働きを担っています。

昨年 10 月 16 日の台風 26 号の被害により教会員の清水和子姉が召され、姉妹の大福がますます豊かに注がれ、日本の教会の伝道が前進することを祈っています。

「神はわれらの避け所また活動が止まってしまうまい。仕事ができない、学校もない、テレビも扇風機も灯りもない、そのためでしょうか、山の上の村では 2 千人もの人々が伝道集

会に集まりました。また教会が和解し一致してきて、最近では歴史上最大の 2 万人の集会も町の運動場で行われました。たった 2 ヶ月の間に、これだけの数の人々に御言葉が語られたことは不思議な御業といふよりほかにありません。

またまだ復興には時間がかかると思われませんが、霊的な復興が併せて起こっていくよう、なお祈りいたなければ幸いです。

「ボホール・ゴスペル・サテュレーション・プロジェクト」(教団派遣宣教師)

離島の伝道拠点を守るため

大島元村教会は、離島にありながら明治末期よりスキャンジニア・アライアン

が教会しました。東京教区東支区に属し伊豆諸島伝道委員会のもとで、波浮教会、新島教会、三宅島伝道所、八丈島教会と共に主の働きを担っています。

昨年 10 月 16 日の台風 26 号の被害により教会員の清水和子姉が召され、姉妹の大福がますます豊かに注がれ、日本の教会の伝道が前進することを祈っています。

「神はわれらの避け所また活動が止まってしまうまい。仕事ができない、学校もない、テレビも扇風機も灯りもない、そのためでしょうか、山の上の村では 2 千人もの人々が伝道集

会に集まりました。また教会が和解し一致してきて、最近では歴史上最大の 2 万人の集会も町の運動場で行われました。たった 2 ヶ月の間に、これだけの数の人々に御言葉が語られたことは不思議な御業といふよりほかにありません。

またまだ復興には時間がかかると思われませんが、霊的な復興が併せて起こっていくよう、なお祈りいたなければ幸いです。

「ボホール・ゴスペル・サテュレーション・プロジェクト」(教団派遣宣教師)

フィリピン地震・台風報告

フィリピン・ボホール ◆ ベルトラン小川文子宣教師

「神様が一吹きしたら、誰もそれを止めることはできない。フィリピン・ボホールでマクニチュード 7.2 の地震が起きた時、クリスチャンでない友人がもらった

感想です。13 年 10 月 15 日、地震を経験したことのない人々は恐れ、叫び、高台へと逃げる人、客を降ろして家に帰るバス、工事現場で滑落する人、将棋倒しになって亡くなる子ども、地割れに一時にして吞まれた家もありました。

大きなパニックが起ころなかつたこと、その日が休日であったことは幸いでした。その日の夕方、誰もがろうそくや水の確保に走り回ったのです。

毎日 2、3 か所にチームが行き、御言葉を語り、物資を配り、話を聞き、けがの治療をしました。人々は御言葉に聞き入り、祈りに深まりました。地震によって揺さぶられた人々の心は開いていました。

地震から 20 日くらいたった 11 月 8 日、今度は台風 30 号が襲いました。歴史上最大の台風は強烈で、まるで津波のような高潮が街を瓦礫にし、家は数時間地震のように揺れつづけ、フィリピン人口の三分の一が被害を受けました。

ボホールでは電気と水が 1 ヶ月近く止まり、ほとん



上、地震により倒壊したロアイ教会
右、援助バイクチーム(エイド・ボホール)

た力である。悩める時のいと近き助けである(詩篇 46 篇 1 節)。私たちの大島は、昨年の台風で、未曾有の大災害に見まわりました。突然のこと、その悲しみは計り知れないものがありました。

しかしこのような時こそ、私たちは神様に信頼しなければなりません。「このゆえに、たとい地は変わり、山は海の真中に移るとも、われらは恐れない。たといその水は鳴りとどろき、あ

わだつとも、そのさわぎに謝すると共に、全国の諸教会の上に、神様の恵みと祝福がますます豊かに注がれ、日本の教会の伝道が前進することを祈っています。

「神はわれらの避け所また活動が止まってしまうまい。仕事ができない、学校もない、テレビも扇風機も灯りもない、そのためでしょうか、山の上の村では 2 千人もの人々が伝道集

会に集まりました。また教会が和解し一致してきて、最近では歴史上最大の 2 万人の集会も町の運動場で行われました。たった 2 ヶ月の間に、これだけの数の人々に御言葉が語られたことは不思議な御業といふよりほかにありません。

またまだ復興には時間がかかると思われませんが、霊的な復興が併せて起こっていくよう、なお祈りいたなければ幸いです。

「ボホール・ゴスペル・サテュレーション・プロジェクト」(教団派遣宣教師)

相次ぐ災害の中、霊的復興を

またまだ復興には時間がかかると思われませんが、霊的な復興が併せて起こっていくよう、なお祈りいたなければ幸いです。

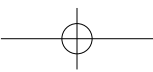
「ボホール・ゴスペル・サテュレーション・プロジェクト」(教団派遣宣教師)

地域地図を見るとき、幼稚園の建っている地域だけ色が薄い。注意、警戒の地域となっていない。▼我が園は、毎年、流行の全盛から 2、3 週間遅れでピークを迎えることが多い。まだ数人の発症だ。卒園式まで 1 ヶ月以上あるが、流行が重ならないよう願うばかりだ。うちははいはいという訳にはいかない。▼

教団という教会の一部でも秩序が壊れてしまっているなら、各個教会がどんなに健全に伝道し教会建設を続けているとしても、健全と思われるこの教会も秩序が壊れてしまっていることを覚えずなくてはならない。▼洗礼を授けてくれた牧師が戒規のことを教えてくれた。信徒としてかつて属した教会で執行された戒規のことだ。戒規を受けた教員が戒規の解かれるまで毎主日の礼拝で会衆席の最前列に座り礼拝を守り続ける姿に教えられた、と言うのである。戒規は悔い改めに至らなくてはならない。▼聖餐の折に告げられる「かえりみて、おの罪を悔い改めなければならぬ」とを真剣に聞いている、と語る信徒がいる。十字架に裂かれ流されたキリストの体と血とに与る。真実な悔い改めがないならば、その恵みはどれほど軽んじられることになろうか。

インフルエ
ンザの流行に
注意する旨、
幼稚園に連絡
が入った。こ
ろがその流行

声 荒野



▼信仰職制委員会▲

教師関連の諮問に答申を行う

第38総会期第3回信仰職制委員会が、1月20日～21日、委員7名全員の出席により、教団会議室で行われた。

【答申】

まず大阪教区常置委員会による「免職された教師の教団の名簿での扱いについ



答申のとりまとめを慎重に検討

て」の諮問を取り上げて、以下のように答申をまとめた(諮問本文は省略)。

【答申】

教師が免職された場合、その教師は「教師としての身分を失う」(『教憲教規の解釈に関する答申集』12

5)わけですから、「教団の名簿」(教規第123条から抹消されます。したがって「教団の名簿」に登録された状態であるとは言えません。なお、抹消後の事務的取り扱いが事務局にお尋ね下さい。

続いて長崎哲夫総幹事に

よる「任地の有無と准允との関係について」の諮問に

対して、以下のように答申をまとめた(諮問省略)。

【答申】

ご指摘の通り『教憲教規の解釈に関する答申集』91には、「補教師検定試験合格者であって任地がない場合には、受験の推薦をした教区の総会(またはそれに代る機関)の議決によって伝道の准允を受けることができる」とありま

ません。招聘制度をとっている日本基督教団においては、全体教会としての教団の合格承認と個教会または学校・団体)の招聘によって教師が立てられていくのですから(教規第125条 128条、招聘を受けないまま

で准允を受けることは望ましくないと言わなければなりません。受験の推薦をした教区は、任地のないままに准允を受ける決断をする前に、合格者が任地を得ることができるよう適切な支援をすることが求められます。

▼救援対策本部会議▲

支援計画の着実な実行と責任ある報告を確認

1月21日、38総会期教団救援対策本部第11回(通算第28回)会議を教団会議室にて開催した。

まず、1月21日現在の国内募金総額は6億5359万5436円、海外からの献金は3億6994万8959円(アメリカ合同メソジスト教会海外災害支援部「UMCOR」からの支援金を含む)となっていることが報告された。

続いて救援対策室から、

台湾における第1回目のこ

ひつじキャンペーン実施、救援対策本部会議予算執行状況および今後の計画、被災地支援コンサート計画、本部委員による各教区での報告会開催計画、各セクターの現状等が報告された。

また、UMCORからの支援金を感謝をもって受け

ると共に、支援申請内容に従って計画を着実に実行

し、責任をもってその報告をすることの確認、ハートフル遠野の今後の活動のあり方について、さらに、ボランティア活動のあり方と今後の方向性・事故対応について、支援予算案・支援継続期間について等の課題の検討をしたことが報告された。

▼台湾協約委員会▲

8月、教会協議会を札幌にて開催

第38総会期第2回台湾協約委員会が1月22日・23日の両日、教団小会議室において行われた。

田中文宏委員長の開会祈

祷の後、会議の冒頭、加藤

誠幹事より昨年韓国釜山に

おいて行われたWCC総会

の報告があった。

世界中心より500以上の

教派が集つこの総会にお

いて、震災後特にその意味

を増した世界の教会と日本基督教団の連帯、特にアジア

式文の検討については、「試用版Ⅱ」の内容を委員全員が分担して次回委員会で発題し、具体的な検討を進めていくこととした。

次回の委員会は、3月27日と28日に開催の予定。

(東野尚志報)

方針・会計予算草案検討など、東北教区放射能問題支援対策室「いずみ」活動(甲状腺検診実施、講演会開催、スタッフ任用など、東日本大震災国際会議現地実行委員会活動等が報告された。

関東教区からは、被災教会の再建状況と今後の計画等が報告された。

東日本大震災国際会議に

関しては、参加状況の確認、

プログラム内容、記者会見

の予定等が報告された。

審議事項においては、エ

マオ石巻専従者公募、台湾

での第2回こひつじキャン

プ実施、被災地支援コンサ

ート実施、第5回北日本3

教区親子短期保養プログラ

ム開催費用支援、東日本国

際会議開催費用支援等を決

定した。

次回会議は、2月14日、

教団会議室にて開催する。

(雲然俊美報)

の教会との連帯が必要とされていることを確認した。

また台湾基督長老教会(PC

CT)からは青年が15名派遣され常設のブースを構成

しており、積極的に海外や教

会の働きへと青年を派遣

し、トレーニングを行って

いる姿勢などが報告され

た。

全てのWCC加盟教会の

共通の課題と関心として

「宣教」があり、アジアや

アフリカにおける宣教の熱

の報告を受け、我々も想いを新たにした。

次に、今年3月に仙台に

おいて予定されている「東

日本大震災国際会議」につ

いては、WCC総会場にお

いても本会議のアピールが

なされ参加者が与えられた

との報告を受けた。

WCC総会期間中に、今

年8月に予定されている

「第14回台湾基督長老教会

と日本基督教団の教会協議

会」についての最初の打ち

合わせをPCT担当者で行った。

PCTと教団とが震災と

いう試験を通して共に協力

し分かち合った出来事を振

り返り、その協力関係をよ

り強いものとし未来へとつ

なげてゆく想いを分かち

合った。

本協議会は、2年に一度

PCTと教団と持ち回りで

実施されているものであ

り、今回は日本で行われる

ということと想いと祈りを

もって話し合った。

決定したこととして、今

回会場は北海道札幌とし、

PCTから北海道へ派遣さ

れている宣教師の働きを分

かち合うとともに、アイヌ

文化の学びのフィールドワ

ークの実施なども検討し

た。

またテーマは、震災など

の苦難を通してより深ま

った両教団がその先に主の

望を見出すことを願い、イ

ザヤ書43・19より「荒れ野

に道を、砂漠に河をー主の

希望に生きる共同体として

ー」に決まった。

協議会の主題としては、

①青年の霊的成長(交流、



宮城県登米市「手のひらに太陽の家」での保養プロジェクト。海水温熱マッサージを受ける子どもたち(東北教区放射能問題支援対策室「いずみ」の活動)

②災害協力、③宣教師の働きの支援、となった。特に両教団による青年共同プログラムの充実を一つの目標とする旨が決定した。

そのためにも今回の協議

会にはPCT・教団双方から、積極的に青年と若い教

職が派遣され、出会いと学

びを通して次世代の両教団

・教会を担う青年育成の基

盤が作られることを願って

いる。

豊かな協議の時に感謝し

つつ、2日間の委員会を李

孟哲委員の開会祈祷をもっ

て終えた。

(野田 沢報)

共に祈り、支えよう！

Let us pray for and support people and the Church together!

「東日本大震災救援募金のお願い」

教会の再建・補修、地域の復興・支援に向けての具体的な取り組みを日本基督教団として支援していくため、祈りと共に「東日本大震災救援募金」にご協力を下さいますよう、お願い申し上げます。

2014 年 2 月

教団救援対策本部長 石橋秀雄

目 標 額 10 億円 (国内のみ)

期 間 2011 年 7 月 1 日～2015 年 3 月 31 日

振替番号 00110 - 6 - 639331

加入者名 日本基督教団東日本大震災救援募金

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

◆統一原理問題東京地区連絡会／研修会◆

全国連絡会準備を兼ね、札幌にて研修会



パスカル氏に聞く

1月21日、教会中高生・青年大会2014実行委員会が教団会議室で開催された。委員会開催は今回で5回目となる。

前回、下見を兼ねて大会の会場である御殿場の東山荘で行われた委員会において、準備委員会の中に、スタッフ小委員会、プログラム小委員会、広報小委員会、募金小委員会、総務小委員会という5つの小委員会を設けて具体的に準備を進めることが確認されたのだが、今回の委員会はそれぞれの小委員会の報告から準備の進捗状況を確認することが主な内容となった。

スタッフ小委員会からは、現段階で80人弱の教職、教育主事にスタッフの依頼が済まされていること、また今後、大阪、東京でのスタッフミーティングが開かれること、さらに、必要に応じて他の地域でもミーティングを行いたいとの報告がなされた。

プログラム小委員会からは、大会のプログラムのたたき台が示され、詳細な検討がなされた。特に、中学生、高校生、青年という3つの大きなグループをいかに効果的に動かしていくかという点には相当の工夫が必要であることが確認された。

広報小委員会からは、すでに全教会へ大会の第1報が届けられていることが報告され、さらに今後第2報、3報へと続いていくこと、新しいポスターの作成等でのアピールを強化していくことが報告された。

募金小委員会からは、献金趣意書案が提示され、検討の結果献金目標額を680万円とすることが決定された。なお、今大会の運営は、参加費と献金のみで行っていくべきということでも一致した。

諸報告の後、大会の案内

去る1月20・22日にかけて、統一原理問題東京地区連絡会の研修会が札幌にて行われた。

今回の研修会は、北海道における統一原理問題への取り組みの実情と課題を共有すると共に、6月に札幌で行われる統一原理問題全国連絡会の準備を兼ねて行われた。

現在、統一協会は、拉致・監禁キャンペーンを展開しているが、脱会を支援する牧師たちに攻撃を加えることで、文鮮明亡き後の動揺や、靈感商法で次々と敗訴している現状に対する統一協会員たちの不満の矛先をかわそうとしている。

この日、北海教区事務所で全国連絡会の打ち合わせをした後、全国連絡会で講師を依頼する予定のスイヴィ・パスカル氏から、拉致・監禁キャンペーンにどのような対処するのか、また、統一協会問題やカルト問題にどのような関わったことが出来た。

パスカル氏は、「統一協会側は、メンバーたちに統一協会が行っていることの情報と事実を伝えない、とも発言した。



左から、野口幸生、山元克之、加藤孔二、増田将平委員長、寛伸子、小林克哉、中西真二、清藤淳

《教会中高生・青年大会2014実行委員会》

教団主催大会、半世紀ぶりに開催

1月21日、教会中高生・青年大会2014実行委員会が教団会議室で開催された。委員会開催は今回で5回目となる。

前回、下見を兼ねて大会の会場である御殿場の東山荘で行われた委員会において、準備委員会の中に、スタッフ小委員会、プログラム小委員会、広報小委員会、募金小委員会、総務小委員会という5つの小委員会を設けて具体的に準備を進めることが確認されたのだが、今回の委員会はそれぞれの小委員会の報告から準備の進捗状況を確認することが主な内容となった。

スタッフ小委員会からは、現段階で80人弱の教職、教育主事にスタッフの依頼が済まされていること、また今後、大阪、東京でのスタッフミーティングが開かれること、さらに、必要に応じて他の地域でもミーティングを行いたいとの報告がなされた。

プログラム小委員会からは、大会のプログラムのたたき台が示され、詳細な検討がなされた。特に、中学生、高校生、青年という3つの大きなグループをいかに効果的に動かしていくかという点には相当の工夫が必要であることが確認された。

広報小委員会からは、すでに全教会へ大会の第1報が届けられていることが報告され、さらに今後第2報、3報へと続いていくこと、新しいポスターの作成等でのアピールを強化していくことが報告された。

募金小委員会からは、献金趣意書案が提示され、検討の結果献金目標額を680万円とすることが決定された。なお、今大会の運営は、参加費と献金のみで行っていくべきということでも一致した。

諸報告の後、大会の案内

つの大きなグループをいかに効果的に動かしていくかという点には相当の工夫が必要であることが確認された。

広報小委員会からは、すでに全教会へ大会の第1報が届けられていることが報告され、さらに今後第2報、3報へと続いていくこと、新しいポスターの作成等でのアピールを強化していくことが報告された。

募金小委員会からは、献金趣意書案が提示され、検討の結果献金目標額を680万円とすることが決定された。なお、今大会の運営は、参加費と献金のみで行っていくべきということでも一致した。

諸報告の後、大会の案内

その後、同じく講師をお願いする郷路征記弁護士と面談した。郷路弁護士は40名の原告団を抱えた「青春を返せ」裁判で勝訴を勝ち取った弁護士である。

郷路弁護士との裁判の争点は、統一協会による一つの経済的被害ではなく、彼らの伝道行為そのものが違法であるとする点にある。この視点に立てば一度

その後、同じく講師をお願いする郷路征記弁護士と面談した。郷路弁護士は40名の原告団を抱えた「青春を返せ」裁判で勝訴を勝ち取った弁護士である。

郷路弁護士との裁判の争点は、統一協会による一つの経済的被害ではなく、彼らの伝道行為そのものが違法であるとする点にある。この視点に立てば一度

《公募》

台湾基督長老教会での
宣教体験プログラム
アイラブ台湾
(6月25日～7月12日)

◎内 容

現地各個教会の子ども・青年向け夏期学校に参加する、要英語力、35才まで

◎旅費補助 教団より半額

◎応募期間 4月11日(必着)、書類選考あり

◎問 合 先 台湾協約委員会
(Tel 03-3202-0544)

消息

筈利 尚(たかし)氏(隠)



退教師

05年4月11日逝去、84歳。
福岡県に生まれる。47年同志社大学大学院修了、50年

東京天城教会に赴任、上富坂教会、吉祥寺北伝道所を経て、84年まで東美教会を牧会し、89年隠退した。遺族は息・筈利和彦さん、妻・新里友子さん。

新里昌平氏(隠退教師)



13年10月7日逝去、80歳。

【公募】嘱託職員及びアルバイト募集

教団では東日本大震災被災者支援活動の拠点であるエマオ石巻およびハートフル遠野の嘱託職員(専従者)とアルバイト(スタッフ)を募集します。

【嘱託職員(専従者) 各1名】

- ＊勤務地 エマオ石巻およびハートフル遠野
- ＊応募資格 (次の要件を全て満たす方)
- ①日本基督教団教師(或いは信徒)
- ②運転免許資格を有する

＊待 遇 社保完備、その他は日本基督教団職員就業規則・給与規定による。

＊契約期間 1年契約。更新あり。

＊アルバイト(スタッフ) 若干名

- ＊勤務地 ハートフル遠野
- ＊応募資格 仮設住宅の「お茶っこ」活動に関心のある方。
- ＊待 遇 日本基督教団職員就業規則・給与規定に準じる。
- ＊契約期間 1年契約。更新あり。

【勤務開始日】 2014年4月1日の予定

【提出書類】

- ＊履歴書・職務経歴書
- ＊応募にあたっての思い(1200字程度)
- ※書式は自由です。応募書類は返却しません。

【選考方法】 書類及び面接

【応募締切】 2014年3月17日(月)

【書類送付先】 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-13-18、日本基督教団事務局 総務部宛

【問い合わせ先】 Tel 03-3205-6088 (救援対策本部 飯島信)

事務局報

正教師登録
満仲 弘

(2013.12.8受按)



東京都に生まれる。60年日本聖書神学校を卒業。同年三崎町教会に赴任、76年より02年まで神戸聖愛教会を牧会し、隠退した。遺族は妻・新里友子さん。

中込己一郎氏(勝浦教会主

担任教師)
13年12月11日逝去、72歳。
神奈川県に生まれる。06年東京聖書学校を卒業。同年東調布教会に赴任、07年より勝浦教会を牧会した。遺族は妻・中込愛子さん。

《公告》

「教団新報」は以下のように料金を変更いたします。
「教団新報」は、消費税・郵便料金値上げのため、本紙第4795号(4月12日発行)より、1部144円に、郵送料共206円に変更いたします。
尚、年間購読料は4月1日申し込み分より下記の通りになります。

記		
◎定価	1部	144円(現行140円)
	郵送料共	206円(現行200円)
◎年間購読料	郵送料共	5,150円(現行5,000円)
	紙代のみ	3,600円(現行3,500円)

(総幹事 長崎哲夫)

教師異動

東村山	辞(主)宇野信二郎
〃	就(代)竹前治
砧	辞(主)秋葉正二
代々木上原	辞(代)廣石望
〃	就(主)秋葉正二
木更津	辞(代)浅原進
〃	就(主)倉橋康夫
児島	辞(主)入江斗美子
〃	就(代)田中寿明
ユニオン日本語教会	辞(外)浅田容子
横浜大岡	辞(代)南澤望
〃	就(主)宇野信二郎
半原	辞(代)佐藤進
〃	就(主)澤田隆
天下茶屋	就(担)樋川一幸
周防	就(担)横山潤
教師隠退	
浅原進、	
浅田容子	
教会所在地変更	
調布	〒182-0024
調布市布田2-28-16	
教師改姓	
谷口裕子	↓福嶋裕子



「明治 22 年 11 月 2 日開校式参列者」



初代校長

Sarah Agnes Wintemute

カナダ伝道会社は 1873 年創立 50 年を記念して外国伝道の開始を議決し、鎖国を解いた日本に第一陣として 2 名の宣教師を派遣した。山梨への伝道は 1876 (明治 9) 年その第二陣として派遣されたイビー (C.S.Eby) が遣わされた。彼は甲府盆地内を騎馬伝道し、3 年間の伝道活動によって最初の教会、日本メソジスト甲府教会が創設された。1878 (明治 11) 年であった。その教会の会員になっていった地元の青年たちは妹たちが尋常小学校を卒業しても進学する普通教育の学校がなかったことなど様々な動機を以て女子が高等教育を受けられるような学校を望み、発起人会を設立した。その発起人会は建物を準備するが、教師はカナダ婦人伝道会社に求めた。その求めに応じて派遣されたのがサラ・アグネス・ウィントミュート (Sarah Agnes Wintemute) であった。

ウィントミュートは 1864 年、カナダ・オンタリオ州に生まれ、同州女子師範学校、女子大学へと進み、フランス語、ラテン語を学び、また画学校も卒業している。その後、カナダ・メソジスト教会のカナダ婦人伝道会社から 1886 (明治 19) 年 10 月に東洋英和女学校へ派遣され、1889 年 4 月まで、算術、英語、体操、西洋裁縫を教えていた。

来日して 2 年半経った時、カナダ婦人伝道会社は山梨英和女学校の初代校長にウィントミュートを指名した。山梨では新海栄太郎、宮腰信次郎、浅尾長慶らが発起人となり、全県下に寄付を募り山梨英和女学校を設立する準備が整いつつあった。

25 歳のウィントミュートは東京を出発、山梨に向かう。当時、甲武鉄道は立川まで開通。立川以西は、馬が徒歩で移動するほかなかった。最大の難関である上り 6 キロの笹子峠を歩いてやってきたウィントミュ

ートは迎えの青年たちを見ると嬉し涙を拭いつつ固い握手をした。志を同じくし、信仰をともにする者の心からの出迎えをどんなに喜ばれたことか。5 月 14 日、山梨英和に着任した。

ウィントミュート校長を迎え、山梨英和女学校は甲府市太田町に、商家佐渡屋を校舎として 1889 (明治 22) 年 6 月 1 日に開校した。校舎は約 80 坪だった。生徒は 6 人。夏期休暇前に 9 人となった。25 歳の初代校主・新海栄太郎をはじめ若い設立者たちは、9 月の学期始めをめざし生徒募集の広告を数回にわたって山梨日日新聞に掲載し、ようやく 9 月から 3 人が入学し、12 人となった。

実際の開校式は 11 月 2 日に盛大に行われた。式典プログラムではウィントミュート校長の「演説」も山梨日日新聞に「女子教育論」と題され全文が掲載されている。

ウィントミュート校長のカナダ婦人伝道会社への報告では「午前中は国語、午後は英語、毎日修身 (Moral Science) という名目で、聖書の勉強にあてられます。大部分の者にとって聖書は初めて触れる興味あるもので、熱心に耳を傾けよく質問をします」。「キリスト教による学校ができるということは稀有な出来事です。が、地域の人々は、この学校が内面的なものを育てるところだという印象を、早くに感じとったのです。キリスト者に対する偏見、厳しい抵抗の中で、ウィントミュート校長が提示した教育目標は「生徒たちをキリストの下に導き、キリストの精神をもって生徒たちがそれぞれの家庭を清く、美しく幸福につくり変えるとともに、社会に対しては奉仕することの尊さ、そのための能力を身につけさせること」であった。

商家を学校として開校した校舎は学校運営をしていくには施設、環境の面で必ずしも適した環境ではなか

宣教師からの声

番外編

山梨英和創立に関わった若者たちと ウィントミュート初代校長

深沢美恵子

(山梨英和中高同窓会「歴史をたどる会」)

った。新海栄太郎校主ら設立者は翌年に 730 坪の土地を 500 円で購入し、翌 1891 年夏期休暇に入るとすぐに新校舎建築にとりかかった。

新校舎は和洋折衷でモダンな建物だった。県内では関心を持つ親たちの見学も増え、英和女学校の教育内容について理解も深まり、初期のように学校やキリスト教に対するの恐怖心も薄れ、生徒数も 31 人 (うち寄宿舎生 25 人) となった。

1892 年 3 月、ウィントミュートは休暇で退任し帰国した。再来日したウィントミュートは 1893 年、東洋英和学校教師 (男子校) をしていたコーツ (H.H. Coates) と結婚。翌年に中央会堂第 1 代総理イビーの後コーツが第 2 代総理となった時、妻ウィントミュートは同会堂の婦人会長となり、以後、コーツと共に教育、伝道、社会奉仕に力を尽くし、その間、6 人の子どもの母となった。

48 年間にわたって日本各地で伝道を続けたコーツが 1934 (昭和 9) 年に 70 歳で召天した後も、ウィントミュートは日本から離れることはなかった。そして 1939 (昭和 14) 年の山梨英和女学校創立 50 周年記念式典に出席している。

太平洋戦争勃発後も、家族の帰国要請にもかかわらず、帰国することはなかった。1945 (昭和 20) 年 6 月駿河台のニコライ堂内・仮設病院で 81 歳で召天した。ウィントミュート先生は 60 年近く日本で伝道と教育に尽くしたが、その生涯の若き日、山梨英和の初代校長として教会の若者たちと創設の苦労を共にしたことと彼女が生涯忘れなかっただろう。

私たちもその若者たちの息吹と若き宣教師の情熱を覚えて、いつまでも心に刻んでおきたい。

(Kyodan Newsletter より)

この時期、雪国では雪との格闘の日々が続く。秋田市は大雪というわけではないが、それでも、ある土曜日に、日曜日に備えての 3 時間ほどの除雪作業で、歩数計は 1 万 5 千歩を超えていた。

この冬、特に秋田県南地域は記録的な豪雪で、横手市では積雪が 1.7 メートルを超した。屋根の雪下ろし中の転落事故も相次ぎ、秋田県内では、除雪作業中の死傷者は死者 12 名、負傷者 93 名で計 100 名を超えている。当然ながらその地にある教会でも、主に牧師たちが除雪作業に追われている。その

雪国の伝道

学生たちには、除雪作業の奉仕とみ言葉の奉仕 (礼拝説教や祈禱会の奨励・証し等) をしてもらうのである。特に今回は教団の伝道推進室からの支援を得て、その祈り

労苦は大変なものである。

そのような中、この 2 月、今年も、大曲教会 (飯田敏勝牧師・啓子牧師) が準備をし、神学生の夏期実習ならぬ、自主的冬期実習 (除雪ボランティア) が行われる。神

と支えのもとに開催されることになった。神学生たちにとって得難い経験になるものと思う。

除雪作業をしながら教会の伝道のことを考える時、礼拝をはじめとする教会の集会に向けて、時間をかけて除雪作業をすることも伝道の一部と思うことがある。その

地に教会があり、寒さと雪の中で集う会員がいて、遣わされた牧師がいる。まずはそのこと自体がすでに伝道なのだ。そのようなことをあれこれ考えながら、また除雪作業に向かう。

(教団総会書記 雲然俊美)

写真、孫の洗礼式にて (左端本人。東京生まれ、「たすけあいネット志木」理事長・主任介護支援専門員、志木教会員、教団常議員。



佐久間さんは戦時中に生まれ育ち、22 歳のとき、1960 年



佐久間文雄さん

召命に応える

イースターに国際キリスト教団代々木教会で受洗。その 7 年後、教会員の女性、弘子さんと結婚し、志木教会へ転入会した。

大衆伝道の時代、代々木教会の平和の鐘運動に参加し、毎日早天祈禱会、路傍伝道をしながら職場へ行き、夜間は国際宣教師神学校で学び、家庭礼拝をささげた。やがて母、妹、2 人の姉夫婦、兄夫婦、父と、次々に家族が受洗した。

49 歳のとき、市役所に勤めていた妻の勧めで、日本社会事業大学の講習を受けた。学長から「これから大変な時代、社会福祉の時代がやってくる」と言われ、すぐに会社を退職し、大学へ入学、社会福祉士の資格を習得した。

その後、日本社会事業大学の非常勤講師を務めつつ、地域福祉論、ボランティア論を学んだ。介護保険制度前から全国社会福祉協議会の会議で制度設計に関

わりの、初年度からケアマネージャーを務めている。基本理念は「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしないさい」(マタイ 7 章 12 節)、「あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者となりなさい」(ルカ 6 章 36 節)であるという。

佐久間さんは「主が不思議な仕方で道を開いてくださった。コーリング (召命) に応える、マックス・ウェーバーの考え方でさせていだいている」と語る。

教会では役員を長年務めている。10 数年前の埼玉地区総会で「主の御心ならば」と祈りのうちに、地区委員に選出され財務を担当、そして関東教区でも財務委員長を長年務めた。キリスト者として介護現場に携わる佐久間さんは「家族の認知症や介護の課題など、教会は今後どのように家庭と寄り添えるか『憐れみ深い者となりなさい』との御言葉に聞きつつ、取り組んでいかなければならない」と語る。